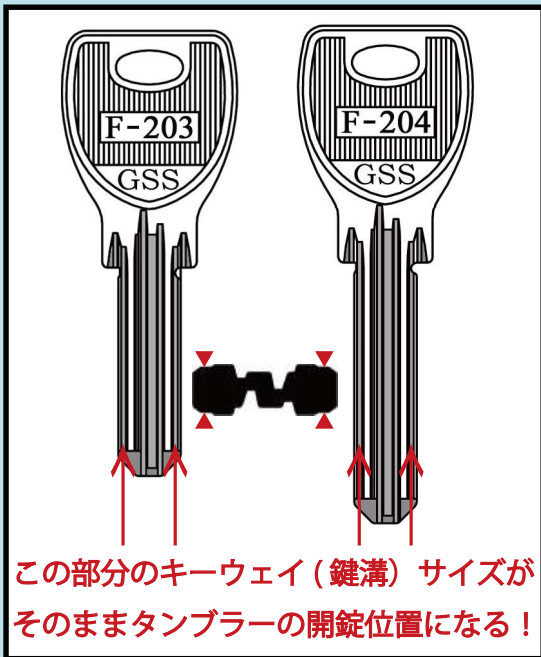


キーブランクそのものが不良!

キーウェイ（鍵溝）の寸法が不具合の原因になります。

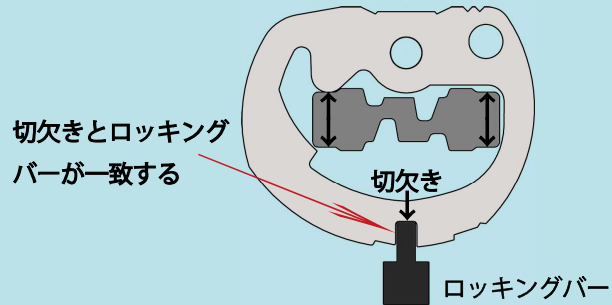


F-203,F-204 検査ゲージ



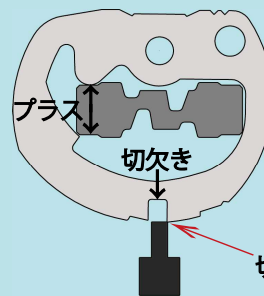
※厳しい検査基準を設定

◎公差内

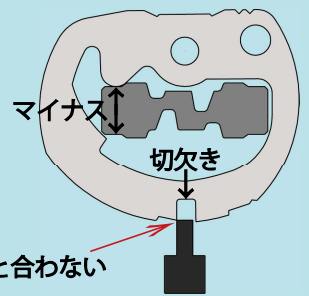


矢印部分の左右 / 前後のサイズが 100% 公差内にあるのは「MIWA 純正」と「GSS ブランクキー」だけ
GSS 以外のキーブランクは現時点では 30 ~ 40% が公差内に加工されていません。（つまり不良）
※片側は回るが逆側には回らないという不良も多く報告されています。

× 公差プラス



× 公差マイナス



公差からプラスしてもマイナスしてもロックンバーがタンブラー切欠きに合わないのでは開錠できません。

【PR・PS キー合鍵不具合の理由】

1. キーマシンの精度・バイス・剛性が適していない。（F 社旧型キーマシン等）
2. ゼロ設定のミス（ブランクと純正キーでなく同板厚のブランクキーでゼロ設定）
3. キーブランク自体の不良（ブランクキーメーカーは 1・2 を不良原因にするが・・・）

【GSS F-203/F-204】

キーマシンが対応可能であり、ゼロ位置設定（ブランクとブランク）が正確にされていれば不具合となる確率は極めて低いと断言できます。

特に PS(F-203) はガイド・カッターが専用なので V18(F-109) の合鍵作成よりも簡単だという合鍵業者様の声も多く聞かれます。